



# 希少元素を含まない IoTセンサ用温度差発電モジュール

国立研究開発法人物質・材料研究機構 エネルギー・環境材料研究拠点 熱電材料グループ 主任研究員 高際 良樹 2019年6月25日

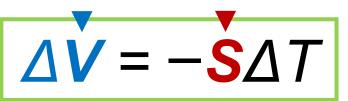


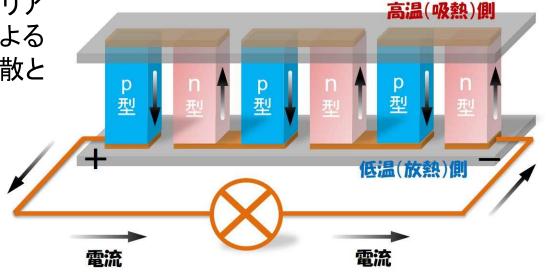
## 温度差発電モジュール



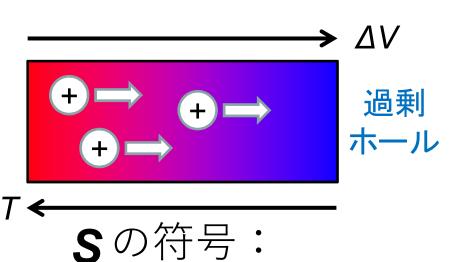
温度差を与えると、高温部から低温部へキャリア が拡散する.これに伴い、電場が生じ、熱による 拡散方向とは逆向きに力を受け、熱による拡散と 電場による力が釣り合い, 平衡状態になる.

熱起電力 熱電能/ゼーベック係数

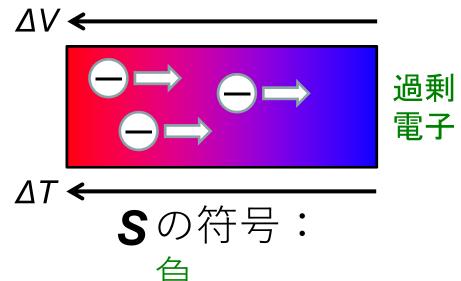




#### p型(キャリア:ホール)



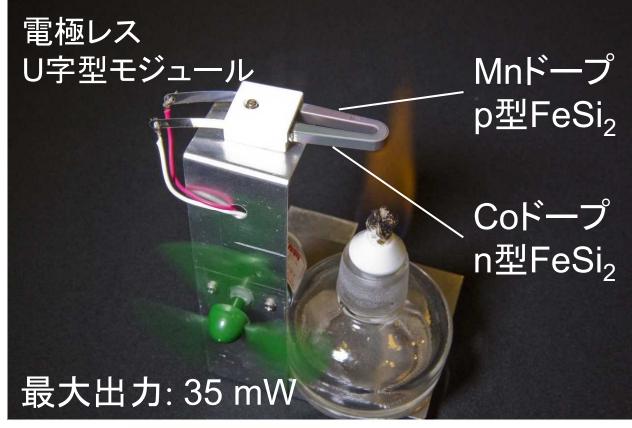
#### n型(キャリア:電子)





# NIMS熱電材料Gによるモジュール化実績











ろうそく ラジオ

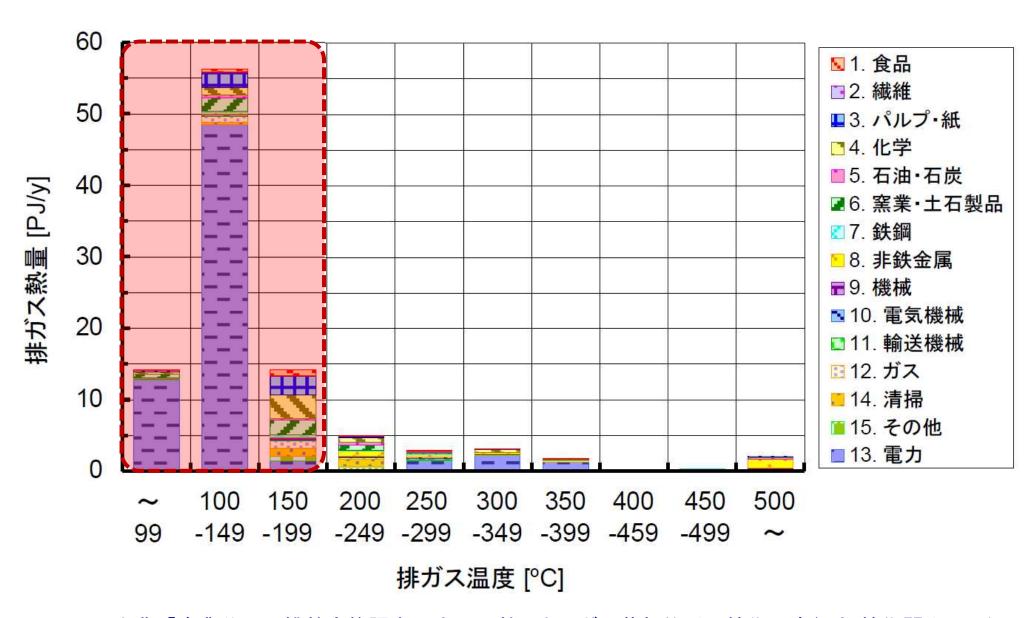


コードレス ファンヒータ



# 温度帯別・業種別排ガス熱量





出典:「産業分野の排熱実態調査」、未利用熱エネルギー革新的活用技術研究組合 技術開発センター.







- > センサ用小型自立電源
- ▶ 温度域:室温~200℃ (*ΔT*<5K)
- ) 出力性能: 100 μW/cm²以上

#### アプリケーション 2

- ▶ 排熱回収用システム
- ▶ 温度域:200°C以上 (Δ*T*>10K)
- ▶ 出力性能:数百mW/cm²以上

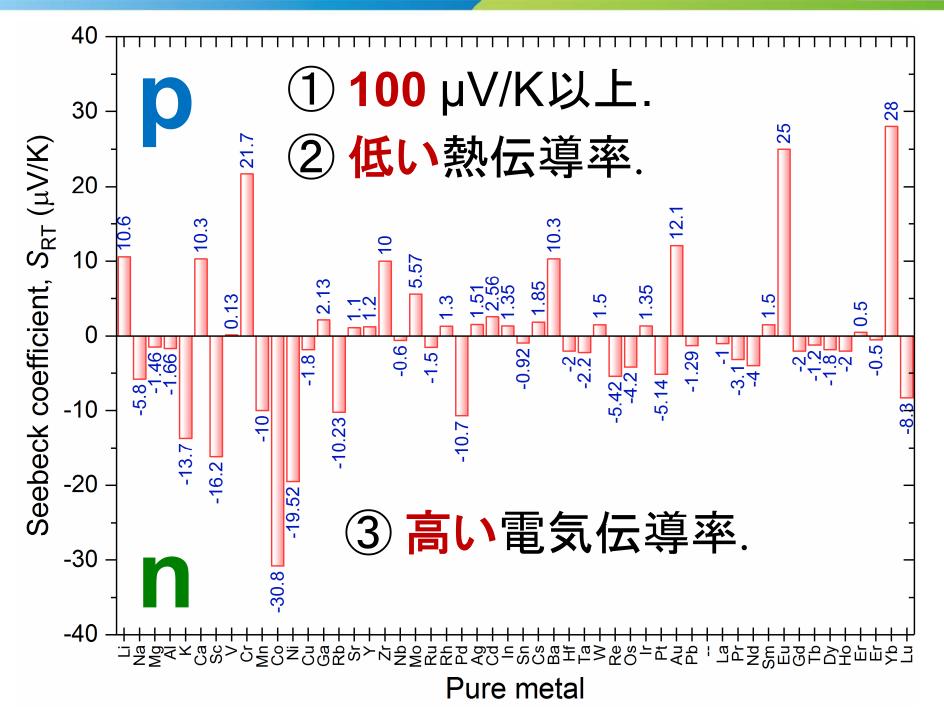
#### 解決すべき課題

- ① 希少元素や毒性元素を避ける
- ② (長期使用に耐えうる) 化学的・ 熱的安定性
- ③ (長期使用に耐えうる) 機械特性
- ④ (長期使用に耐えうる) 電極接合 技術



# 新材料に求められる材料物性

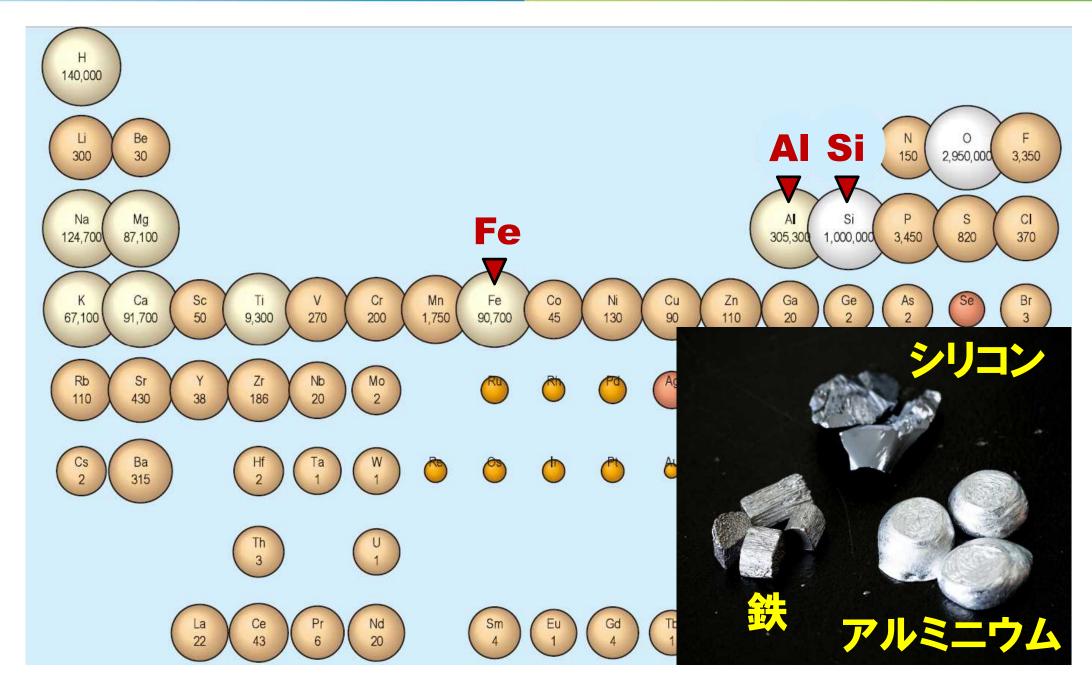






# 資源制約の小さい新材料の探索



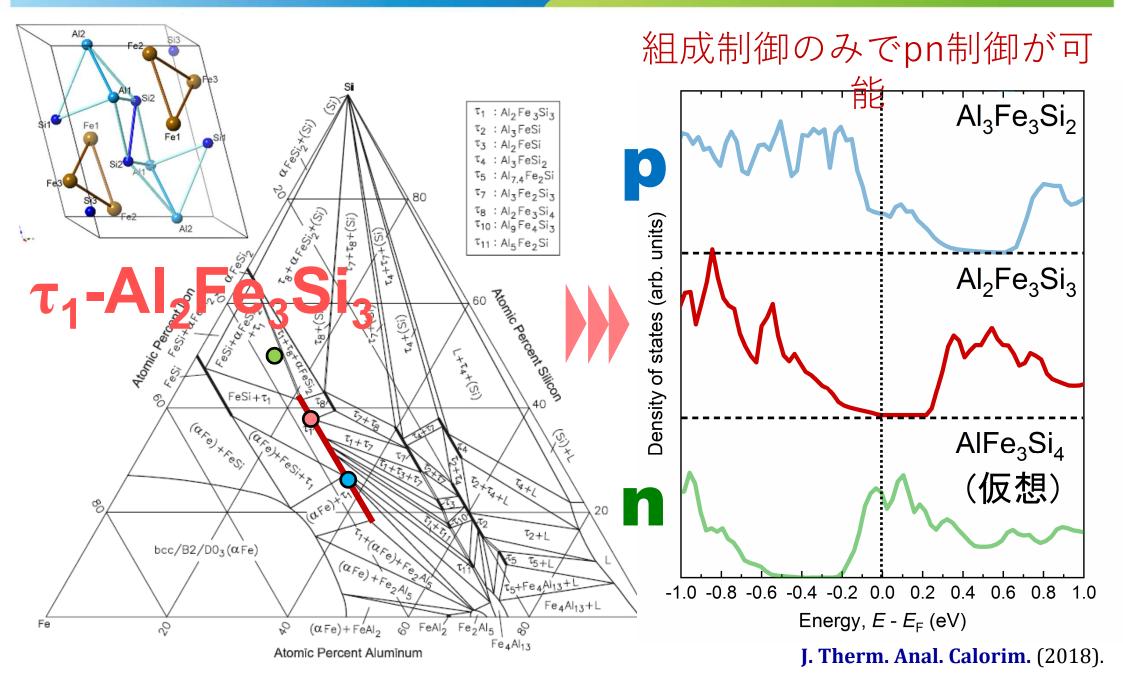


出典:元素戦略アウトルック「材料と全面代替戦略」,物質・材料研究機構.



# 資源制約の少ない新材料を探索



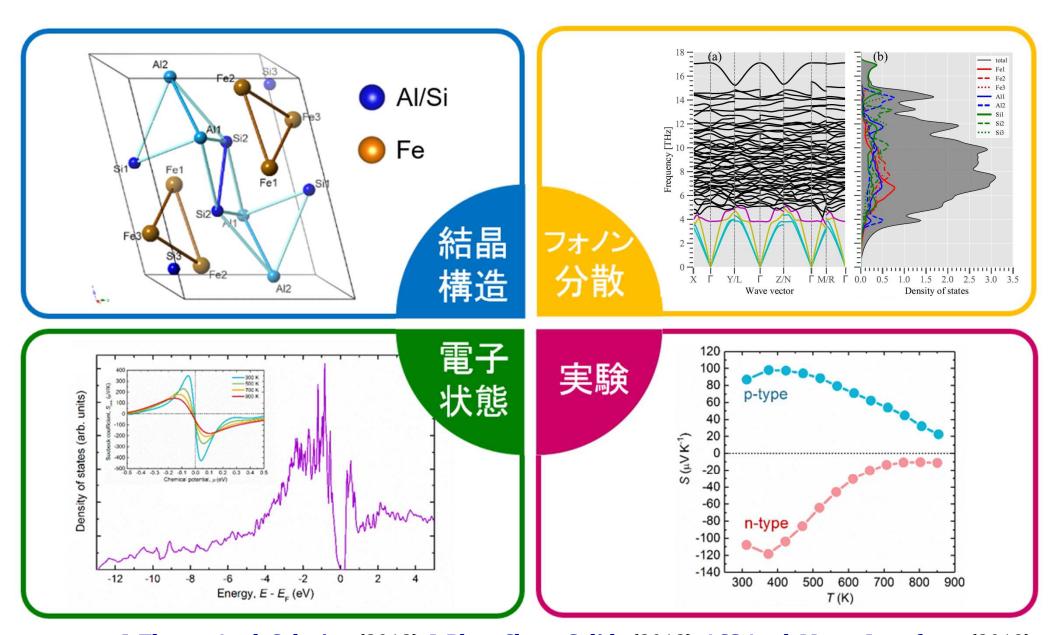


M.C.J. Maker et al., Intermetallics (2011).



# Al-Fe-Si系新材料の特徴



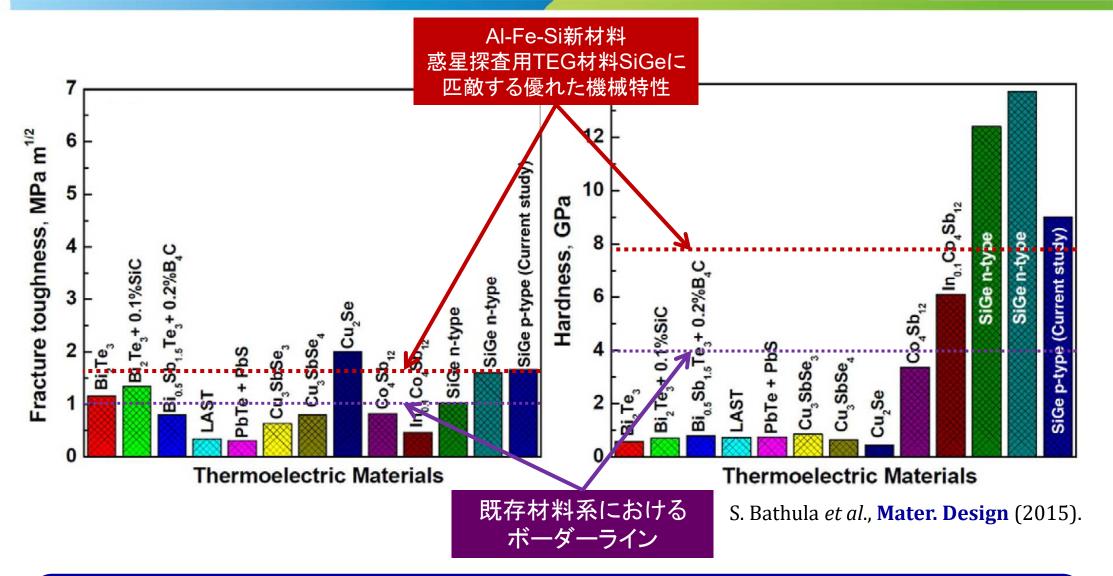


J. Therm. Anal. Calorim. (2018), J. Phys. Chem. Solids (2018), ACS Appl. Mater. Interfaces (2019).



# Al-Fe-Si系新材料の機械特性①



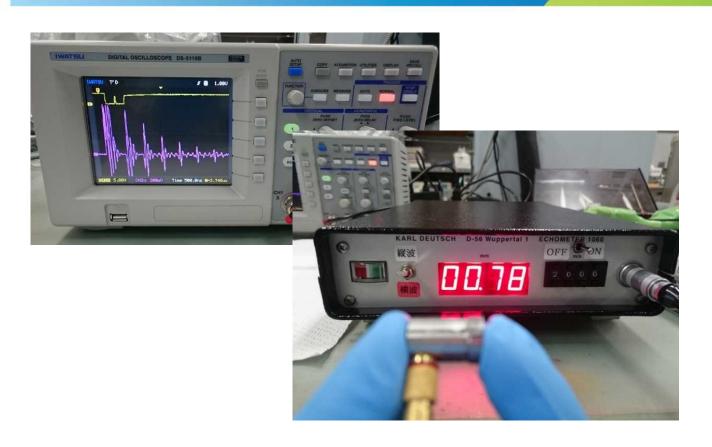


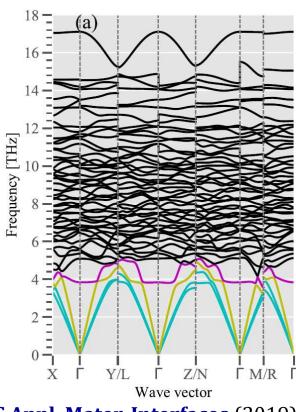
発電素子設計・耐久性の観点から、機械特性を両立する必要がある.



# Al-Fe-Si系新材料の機械特性②







ACS Appl. Mater. Interfaces (2019).

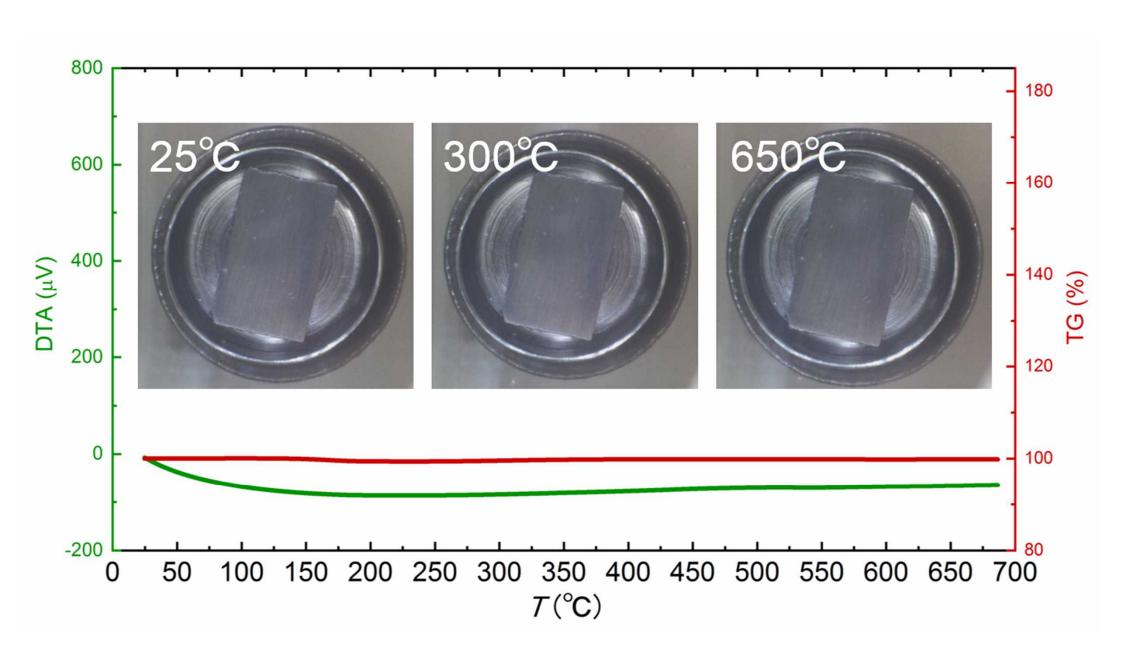
Al <sub>2</sub> Fe <sub>3</sub> Si <sub>3</sub>	縱波音速 (ms⁻¹)	横波音速 (ms <sup>-1</sup> )	デバイ温度 (K)
計算	7980	4760	680
実験	7380	4360	620

Al <sub>2</sub> Fe <sub>3</sub> Si <sub>3</sub>	体積弾性率 (GPa)	ヤング率 (GPa)	せん断弾性率 (GPa)
計算	173	286	117
実験	161	255	103



# Al-Fe-Si系新材料の化学的安定性







## AI-Fe-Si系新材料の比較



#### 発電性能

Al/Si組成比の調整のみで、pn制御が可能.

- ① 室温から5°Cの温度差で70 µW/cm².
- ② 適用温度域を中温域へ拡張可.

#### 資源性

酸素を除く、クラーク数上位3位の元素から構成.

- ① 資源性・コスト面で, 既存材料(Bi-Te)を圧倒.
- ② リサイクル・再精製技術の構築も可能.

#### プロセス

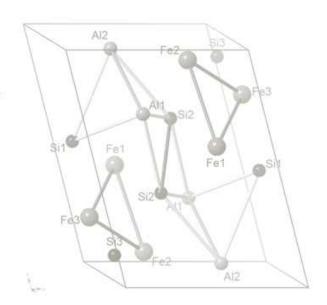
溶解のみで合成可能.

機械特性

宇宙利用されているSi-Geと同程度.

熱安定性

耐酸化性に優れ,化学的に安定.

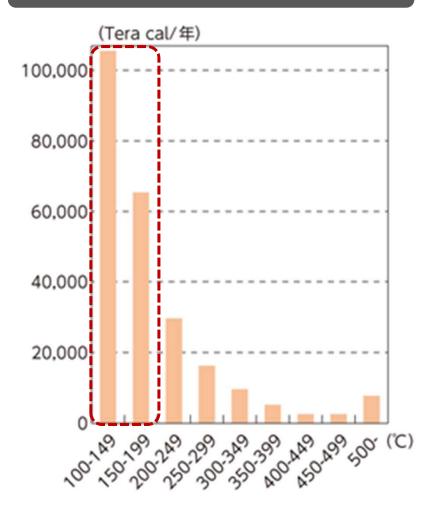


#### 他の材料系との比較

W. Liu et al., Scripta Mater. (2015).

温度域 低	材料	電気出力 因子	熱伝導率	資源性·毒性	熱安定性	硬さ (GPa)	破壊靱性値 (MPa m <sup>0.5</sup> )	昇華速度 (g cm <sup>-2</sup> h <sup>-1</sup> )	モジュール 化技術
	Al-Fe-Si	↑(最適化)	↓(最適化)	<u></u>	0	>8	>1.5	-	-
A	Bi <sub>2</sub> Te <sub>3</sub>	` ⊚ ´	` ⊚ ´	Δ	0	0.62	1.1	-	市販
	PbTe	<b>©</b>	<b>©</b>	×	×	0.4	0.35	9.4*10-2	試作
	PbSe	0	<ul><li>O</li></ul>	×	Δ	0.57	=1	1 <del></del>	試作
	Skutterudite	0	0	Δ	Δ	3.5	0.8	5.2*10-3	試作
	Mg <sub>2</sub> Si	0	0	0	Δ	5.3	1.3	-	試作
	Si-Ge	0	Δ	0	<u></u>	14.5	1.0	4.8*10-5	宇宙利用

#### 産業部門における排熱分布



出典: https://www.env.go.jp/policy/hakusyo/zu /h27/html/hj15010302.html

#### 研究成果のポイント

200℃以下の分散型排熱の高度・広範利用に 向け, 無害かつ低コストの元素から構成される, 温度差発電材料の創製に成功.

#### 今後の研究展開

IoT用センサ自立電源や排熱回収用システム の社会実装に向け、環境低負荷・耐久性に 優れる小型の温度差発電デバイスを開発.

#### 共同研究のポイント

具体的なシステム・アプリケーションの創出.







・発明の名称:熱電材料、その製造方法 およびそれを用いた熱電発電モジュール

• 出願番号 : PCT/JP2018/032031

• 出願人 : 国立研究開発法人

物質•材料研究機構

• 発明者 :高際 良樹



# 国立研究開発法人物質·材料研究機構 外部連携部門 企業連携室

# 企業様向け総合窓口HP (スマホ対応)

https://technology-transfer.nims.go.jp/



